



調布市議会議員、大河みとこの議員活動レポートです。市民と市政の架け橋となるべく奮闘中です。是非お読み下さい。

元気派市民 大河みとこの市議会レポート

9月議会

NO.42

2003年 秋号

元気派市民とみとこの会

〒182-0011

調布市深大寺北町1-31-1

Tel&Fax 0424-88-4137

http://www.ops.dti.ne.jp/genkiha/

みみチャンネル

主なニュース

みとこの議会レポート	一般会計決算の認定 / 総務委員会報告	・・・P	2 - 3
調布の福祉は今	高齢者福祉 / 深大寺保育園開園	・・・P	4 - 5
変わるまち	外かく環状道路の影響	・・・P	6
変わるまち	京王線連続立体交差事業	・・・P	7
元気派ひろば	元気派ミーティング / 身近な野草で編むミニかご作り	・・・P	8

市民に開かれた

議会改革を目指して

「より市民に開かれた議会」と「議会の活性化」を目的とした議会改革協議会（前号に記事掲載）は、協議会実施要領も設けられ、各会派の改革案を参考に、検討事項の優先順位を討議してきました。現在、「議会で傍聴できない人のために」として市民から出された、FM放送、ケーブルテレビでの議会中継の陳情も検討事項の一つとなっています。議会中継の条件として、「質問時間の制限」や「代表質問できる会派人数を三名以上とする」という会派提案もあり、これが実行されれば、一人会派の「元気派市民の会」は市長の所信表明に対して質問ができなくなります。市民の声を届ける議員が、所属する政策集団の人数で発言制限を受けるのです。定数削減で、議員一人の責任がより重くなった今、民意がより反映される議会を目指すこそ改革です。私は「決算・予算の特別委員会の早期設置」、「財政と政策を一体として議論する場」を提案しています。

（元気派ホームページに各会派改革案一覧表を掲載中）



長友市長は公約実現に

具体的行動を!!

九月議会では、助役と教育長が選任されて、長友市政推進の体制が整いました。最近の選挙戦では、マニフェスト導入への動きが盛んです。公約は有権者と候補者との契約です。九月議会、十四年度決算の認定が主な審議事項でしたが、元気派市民の会は、長友市長が「借金の早期返済」、「無駄、無理な箱物行政の見直し」という公約実現に対し、昨年七月からどのように努力してきたかを審議の観点としました。結果、実施計画見直しもあいまいで、市政運営の改善点が掴めない十四年度決算には反対しました。男性助役一名の提案には、職員を束ね事業を推進するために、行政内部の登用も必要と考え助役人事に賛成しました。しかし、市長公約の女性助役提案は果たされず、課題として残りました。予算編成方針は十月に出されます。新体制も整い、市政への期待も高まっています。市長公約の具体策は何か、優先事業は何か、子どもたちに無用なツケを残さない誰もがわかる市長の実現したい改革の全容を、そろそろ市民の前に具体的に示すべきです。決算に対する詳しい見解は二ページからです。

是非、ご覧下さい。

調布市議会議員 大河みとこ

気候不順ですが食欲は順調 秋です。栗、サツマイモ、林檎、そうそう秋刀魚も美味しい。みみ太のように七輪で焼いた秋刀魚を食べてみたいな。(みとこ)

みとこの議会レポート

市長公約の財政改革・「箱物行政」の見直し の方針が明らかにされなかった十四年度決算の認定に対し二会派が反対

平成十四年市議会
第三回定例会
九月九日～二十四日(十六日間)

平成十四年度一般会計決算認定

起立多数で可決

元気派市民の会 反対



【元気派の討論】市長の主な公約は「開発優先から市民のくらしを大切に
するまちづくりへの転換」、「市の財政
改革の推進」でした。決算を公約に当



てはめながら審議
しました
が、それぞ
れに明確
な方針が
見出せな
かったの
で反対し
ました。



財政改革の基本となる財政情報
に対する確かな認識を欠く決算に
異議あり！

決算は事実です。十四年度の収支
は十七億円の赤字となっていますが、
事業推進の為に借金した市債総額は
二十二億円で、実質は赤字です。今回
の決算では、借金も収入と見なす現
金主義のマジックで出された経常収
支比率87.8%という数字を採用して
います。本来なら従来の計算式で出さ
れた92.4%という財政事実を羅針盤に
して、行革目標の80%台の計数を超
えた現状を市の財政の硬直化と認識
すべきです。借金した現金を積み、基
金が増えたという見解も疑問です。
財政改革断行という市長公約実現の
大前提は、財政事実の正しい認識で
す。今までの事業を見直し、新しい事

業への財源確保を図る事が財政基盤確
立からも優先課題です。基本方針を明
確にせず、各事業評価や二次評価を重
ねても無意味です。今後、市はすべて
の事業をゼロベースで見直すとしてい
ます。行政コスト計算書が作成され、
議員コストも一千五百万円だとわかり
ました。決算審査の資料として、市の
財政状況を共通認識できる財政白書を
作成するよう要望しました。決算の反
対討論の全文は元気派ホームページに
掲載中です。
<http://www.genkihatoops.dti.ne.jp/>

調布市廃棄物の処理及び再利用 の促進に関する条例の一部を改 正する条例

全会一致で可決

元気派市民の会 賛成



ごみを有料化するための条例改正の
提案でした。条例賛成すると、調布市民
に独自の増税を認めることになるので苦
慮しました。しかし、今はごみ焼却施設
建設を目前に控え、ごみの減量と、施設
規模を小さくする努力が、環境負荷の軽
減や、建設コストの削減にもなると考
え、条例改正に賛成しました。

若者の雇用確保に政府として 全力を挙げることを求める意 見書

賛成少数で不採択

元気派市民の会 反対



不況の中では、雇用確保は若者だ
けでなく、家族を抱えた失業者、高
齢者、女性など広く社会問題化して
います。様々な年代の雇用確保が求
められている状況からは、労働形態
のあり方など総合的な政策を求める
べきだと考え反対しました。

犯罪防止のための治安対策の 強化を求める意見書

起立多数で可決

元気派市民の会 反対



治安の維持は国民にとって最大の
福祉であるとし、政府に治安の回復を
強く要求した意見書で、外国人犯罪の
増加から入国問題も取り上げ、より厳
しい措置や、増加する少年犯罪への対
策なども求めています。治安対策は必
要ですが、全てをひとくりに進める
ことは監視社会へと繋がる危惧もあ
り、治安対策は、より慎重に対処すべ
き問題と考えて反対しました。

都内各自治体においてさらなる一般競争入札制度の拡充を求める意見書

起立少数で否決
元気派市民の会 反対



今は企業に対し、エコ商品の購入や、社員の男女比まで、企業の公正・倫理観なども入札の条件に加味される時代です。また、事業についての提案を総合評価するなど入札制度は多様化しています。単にコスト面にしぼった一般競争入札の拡充は妥当でないと考え、反対しました。

総務委員会報告

総務委員会に付託された平成十四年度決算に対し、次の点を課題として指摘し、要望もして反対しました。賛成多数で可決

元気派市民の会 反対



市が監理団体に指定している団体、例えば、公共施設管理公社などの経営状況が現状では把握しにくい。収支額も大きくなった組織のあり方の見直しも指摘し、早急に対処するよう要望した。

PF I事業で調和小の事業費があるが、民間と行政という会計方式が異なる二者を扱った評価とその算出方法には問題がある。新規事業でのPF I導入には慎重な検証を求めた。決算参考資料としても有用な事務報告書は、決算書と同時期に議会に提出するよう要望。

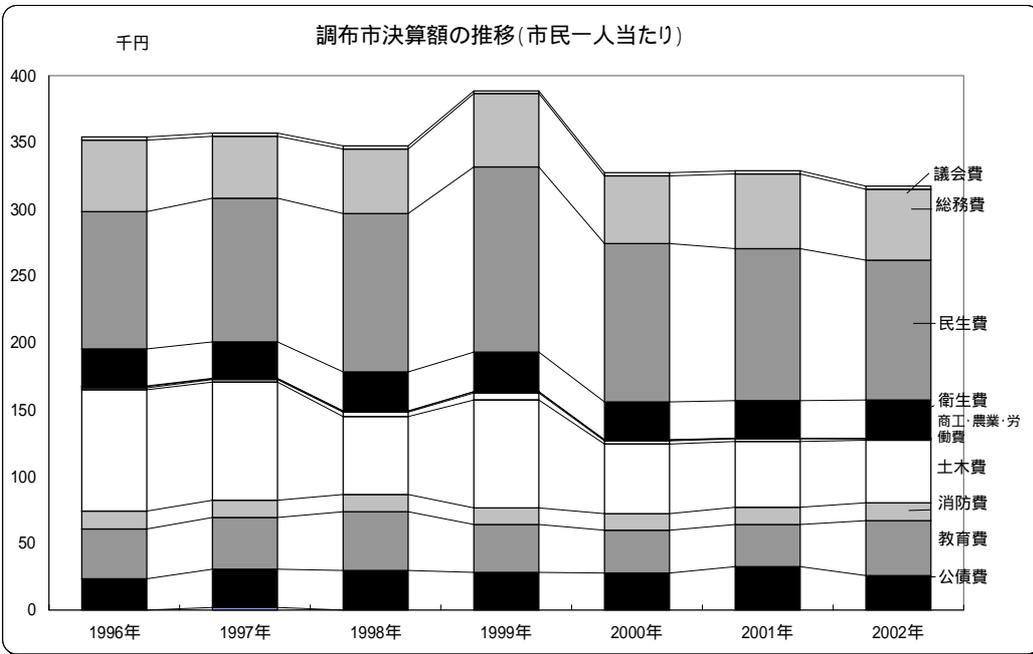
今後の職員採用には財務、法務、IT関連、マネージメント、リスク管理など自治体経営できる分権時代にふさわしい人材確保を要望。

IT化の経費が増大している。行政の効率化、導入による市民への貢献、適正価格などの把握を要望。

「暮らしの便利帳」は行政サービスの最新情報案内としても有効。転居の際だけでなく、全ての市民に、四年に一度程度の市内全戸配布を要望した。

大町小学校跡地活用について、地域住民と対話し、今後の方針を市民に伝えるように要望。

低投票率は市政運営からも問題。未来の自治を担う子どもたちへの政治教育として模擬電子投票を学校で行うなど、早くからの民主的選挙教育を選挙管理委員会に要望。



調布市には、これから税金があまり入らなくなるんだ！来年の予算はどうするのかなあ？ 大変だ！



14年度は、民生費が昨年度に比べ減っていますが、これは、国民年金事務が国に移管され、国民年金印紙購入代32億円余りが減少したためですが、深大寺保育園新築事業などもあり、構成比は33%で1位です。教育費は、調和小学校施設など取得も含まれているために増加しています。調布市は現在総人口が増加していますが、納税者である生産年齢人口は減少し、老人人口は増加しているなかで、市民サービスの維持が難しくなっています。

スウェーデンを訪問した際お会いしたリンド外相がテロに倒れた訃報に、驚きと憤りと悲しみで混乱した。暴力は民主主義の否定、平和は勇気がないと守れないものだと言っている。(みとこ)

調布の福祉を知ろう！私らしさを大切に、高齢者にとって 住みよいまちづくりとは

8 / 2 3 調布市総合福祉センターにて

老人保健福祉高齢者計画と介護保険事業計画を統合した「調布市高齢者総合計画」が平成15～19年度までの5年間について改定されました。私たち自身のこれからについて一緒に考え、学び、提案につなげるために、市の高齢福祉課長の荻原さんを迎え、この総合計画について説明していただきました。



講師の説明に熱心に聞き入る参加した人たち。

調布市の現状と課題

- ・平成19年度には高齢者数は約4万人となり、高齢化率は18.7%に増加
- ・介護保険の要支援、要介護認定者数の割合：平成12年の約2800人から14年の4700人に増加
- ・特別養護老人ホーム：15年度、下石原に80人収容、国領に95人程度収容の新施設を整備
- ・介護保険サービスの対象者の増加につれ、サービスの量の確保と支出の増加、一方で保険料滞納者も増加し、今後の深刻な課題

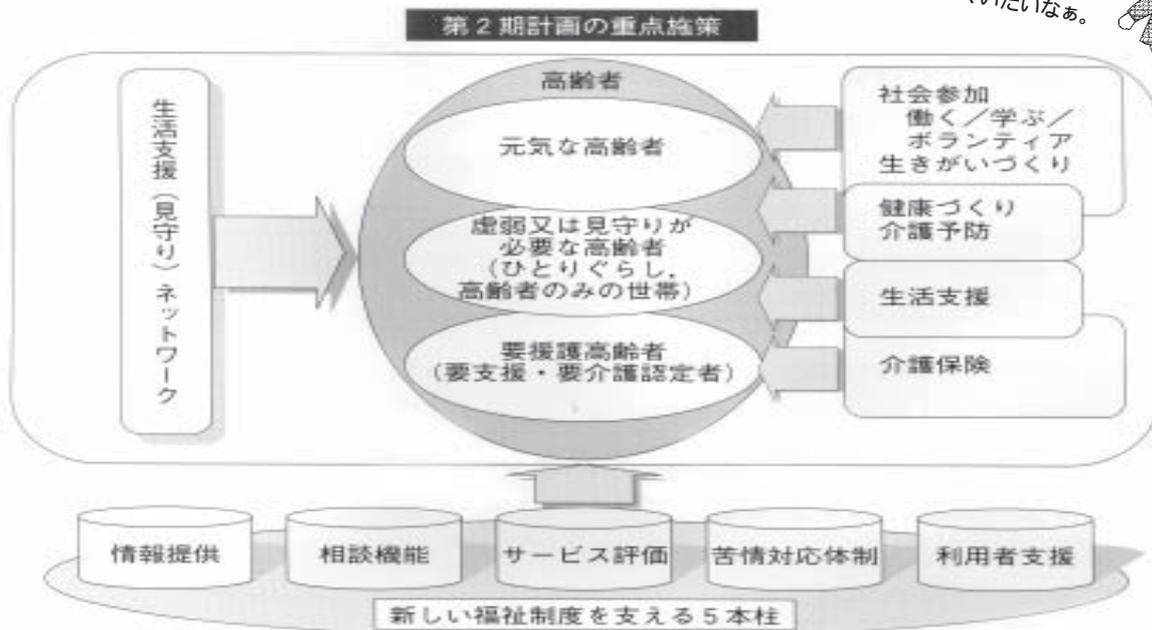
介護保険の維持には介護予防のための健康政策が重要という考えに立った第二期計画の重点施策(下図)高齢者の意思を尊重しながら、周囲による「ソフトな見守り」、「ゆるやかな働きかけ」、「異常を察知して通報」などができる体制作りが平成15年度から開始します。例えば、布田老人憩いの家では地域ボランティアに支えられた様々な集まりが毎週あり、シルバーピア調布染地集会所では、月2回ふれあいランチが行われています。生き甲斐を持って健康で暮らせる社会を支える、この様な市民力に対し、行政の積極的支援の必要性を強く感じました。

参加者からの感想

超少子高齢社会を生きていくには行政まかせで良いのか。市民ひとり一人が自分の問題として考えていかなければ…。高齢者問題として2010年問題(団塊の世代が高齢者になること)があることを知った。高齢者の施設を作ることだけが老人にとって幸せなのか、疑問に感じました。健康で自立した生活を送るための、事前に打てる手配があるのではないかと。このような小さな学習会から、大きな知恵を学び、今後の生活に役立てたいと思いました。

染地在住 H.I.

70才になっても、80才になっても、ずっと元気で、ぼくらしくいたいなあ。



最近凝っているオリーブオイルのサラダ。どんな野菜にもオリーブオイル・ワインビネガーそして香辛料と塩少々。これでもうイタリア気分。(みとこ)

みとこの活動日誌



- 7月 3 幹事長会
- 4-5 市川房枝記念会政治参画セミナー(住基ネット)
- 5-6 全国自治体議員行財政研究会
- 6 長野県人会
- 10 われもこう見学
- 11 環境保全審議会
- 12 武蔵境通住民協議会
- 15 ごみ懇談会傍聴
- 17 土木学会シンポジウムパネラー参加
- 18 日本福祉のまちづくり学会(高崎)
- 20 調布市花火大会
- 26 国際公会計学会(名古屋)
- 28 交通技術セミナー
- 29 議会改革協議会・河川改修促進大会
- 30 都市農政推進協議会総会
- 31 スウェーデン「スヌーズレン」についての講演会
- 8月 3 AIDS文化フォーラム in 横浜
- 4 調布駅南口にて、会報配布
- 6 調布まちづくりの会例会
- 7 少人数学習検討会傍聴・ふれあいトークン(深大寺地域センター)
- 8 議会報告会
- 11 シダックス(都市対抗野球)激励会
- 21 調布市ボランティアNPO支援センター開設準備協議会傍聴
- 22 教育委員会傍聴
- 23 元気派学習会
- 24 相互塾(武田英子さん「海を渡った人形」)
- 26 総務委員会・議会改革協議会
- 28-29 自治体学会全国大会(大津)
- 30 国際公会計学会全国大会(中央大)
- 31 防災訓練(調和小)
- 9月 1 幹事長会
- 4 少人数学習検討会傍聴
- 5 議会運営委員会
- 7 市民体育祭開会式・元気派運営会議
- 9-24 9月議会開会
- 10 模擬電子投票参加
- 13 調布っ子夢会議傍聴
- 15 敬老会
- 16 ごみ懇談会傍聴
- 21 ユニホッケー市民大会観戦
- 26 議会改革協議会
- 28 武蔵境通住民協議会
- 29 少人数学習検討会傍聴
- 30 J Iフォーラム

FC東京のユニホームを着たペコちゃん人形が議会控え室で頑張っている。試合を見るチャンスがないので、せめて気持ちだけでも応援しよう。(みとこ)

布田老人憩いの家、わくわくひろばまつりに参加して

80代の方の熱唱、演奏。会場が一体になった盛り上がりから、演奏する人も聴く側も心から楽しんでいることが伝わって来て、私のほうが元気付けられうれしくなりました。また、ボランティア・スタッフとのパートナーシップもすばらしく、お互いに信頼関係で結ば



熱唱に会場から紙テープが飛ぶ。

れている日常活動の延長線上にこの集まりがあるんだと、すぐに理解できました。ただ、多少の椅子の準備はあるものの、畳の大広間に座っているのはつらそうだった方々と、建物の老朽化が気になりました。集まって活動できる場があり、話せる人が居るということは、高齢者の方にとっては心強く、安否確認や情報交換の場にもなっていることでは



冴えたパチさばきに会場から拍手喝采。

う。地域コミュニティーが、市の高齢者総合計画にある「見守り活動」にも繋がるのだと実感しました。多くのボランティアの方に支えられた元気な高齢者の方々に接すると、生き甲斐に繋がる場の提供が市が推進すべき優先課題であることは確かです。

深大寺保育園完成する！

今までの広さの3倍の1464.7㎡、総工費9億6千万円をかけ、園児120名の深大寺保育園が開園されました。深大寺地域では関心も高かったため、元気派メンバーと施設見学をしました。シックハウス対策の24時間対応の換気設備、壁紙など、当初計画になかった施工もあって、経費面で随分苦労されたようです。床暖房の木のフロアは温かい印象で、基本的には子どもに優しい施設だという印象を受けました。しかし、地域交流室には床暖房施設はなく、何とか工夫できなかったのが残念な対応です。また、自然が残る土地を生かした園庭造りを期待していた私たちに奇異に映ったのは、園庭が柵で仕切られていた点です。年代の違う子どもと一緒に遊ぶと危険という理由のようですが、正直なところ、広々した園庭だけにもったいない気がします。ドアは若い園児への配慮から用途別にピンク、オレンジなどに色分けされていましたが、家同様に暮らす子どもたちは、トイレや食堂など、すぐ覚えるはず。むしろ落ち着いた室内にして、木のドアで絵の表示だけあれば問題ないのではと思いました。人も建物も管理しやすさを優先せず、手を掛けること、色彩感覚を養う配慮など、これからの公共施設の課題かもしれません。



木をイメージしたという外観



区切られた園庭

区切られた園庭

議会に広域交通問題等対策特別委員会が議員提案で設置される。

東京外かく環状道路(以下外環)と京王線連続立体交差事業関連(以下連立)について特別委員会が設置され、「大河みとこ」も委員になりました。

東京外かく環状道路について

今回の議会には外環整備促進を求める陳情も出されましたが、市議会では昭和55年に全会一致で外環建設に反対の決議をしており、今まで外環について、調査、研究も議論もされずにきています。

今回、構造形式が大深度地下方式に変更になり、関係各市でその対策について話し合いの場が持たれています。国は各市に意見を求めており、長友市長は外環の有用性は認めると発言していますが、市議会の反対決議や、インターチェンジ問題もあり、意見を留保しています。

議会としても、この重要な課題に対処するため特別委員会を設置し、まちづくり、環境面も含め、調査、研究し、市民の意見を国に伝えていきます。

国と東京都が平成15年3月に発表した方針

東京外かく環状道路(関越道~東名高速間)に関する方針について

国土交通省と東京都は、1月10日に公表した外環の方向性について沿線自治体との意見交換等を踏まえ、下記のとおり、外環の方針を定めた。今後、この方針を軸に地元の意向等を把握し、早期に外環に関する結論を出していくこととする。

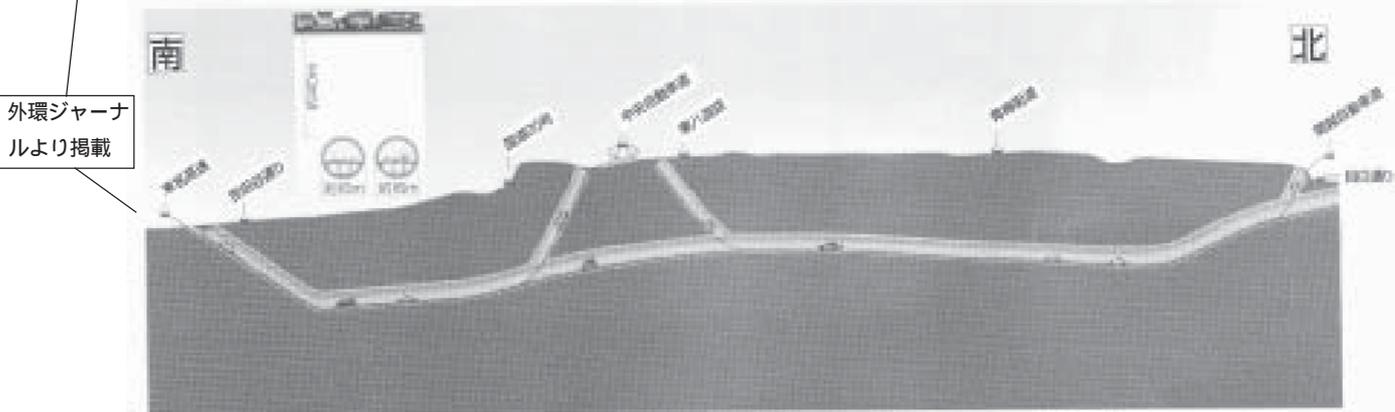
- 外環整備は喫緊の課題で1日も早い整備が望まれるため、早く、安く完成できるよう十分考慮し、沿線への影響を小さくする。このため、
 - ・外環本線は、**シールドトンネルと3つのジャンクション**を基本構造とする。
 - ・トンネル構造は、3車線を収容する長距離シールドトンネル2本とし、外径は約16mに縮小する。
 - ・地上部への影響を小さくするため、極力、大深度地下を活用する。
- インターチェンジについては、今後、地元の意向等を踏まえながら、設置の有無について検討する。その際、設置要望のあった青梅街道インターチェンジについては、さらに地元の意向を把握していく。その他のインターチェンジについては、ジャンクション構造の一体的活用について検討する。
- 地元において地上部整備の方向が定まった場合、大深度区間であっても、地元の意向を踏まえながら、その整備を支援していくものとする。なお、青梅街道から目白通りについては、地元の意向を踏まえながら、地上部街路の設置を検討する。
- この方針について、沿線の住民や自治体等の関係者から幅広い意見や意向を把握するため、模型等を活用したわかりやすい資料や情報の提供を行う。

関越、中央、東名の3つの高速道路と連絡するジャンクションが決まっているほか、主要な道路にインターチェンジを作るか、については地元自治体と協議を進めています。



調布では、東八道路と甲州街道にICをつくる場合が検討されているよ

建物の建設などに影響がない、地下40mもの大深度をシールド工法で通す計画となっています。

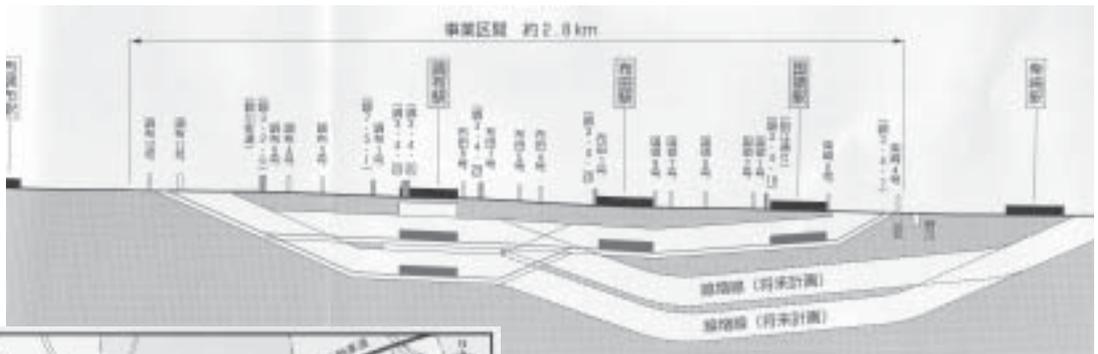


京王線連続立体交差事業

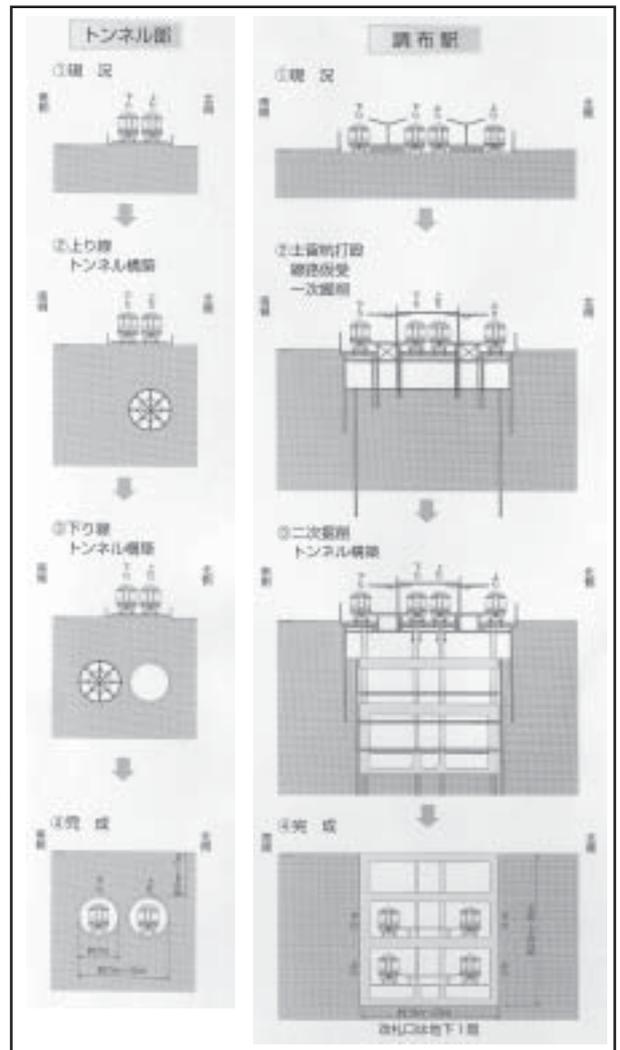
連立事業は、平成十五年三月に事業認可がおりた事で、具体的に推進されていくこととなります。

現在の予定では平成二十四年に連立事業の完成、平成二十五年に調布駅前広場の整備終了となっております。市民の関心も日増しに高まってきています。連立事業の市の負担金は七十五億円と言われていますが、関連のまちづくり、産業振興、福祉的視点からの交通システムなど、すべてを含めると巨額な財政負担を市民に強いるビックプロジェクトで、市の行財政運営の根幹にもかかわる大きな課題です。

事業主体は都で、京王電鉄が関わりますが、工事期間も長く、駅前広場も地下化により出される土砂の搬出で使用できなくなります。経費負担等からも、また、市民生活に直接・間接的に大きな影響が出てくることから、市議会でも正確な情報に基づいて、予算審議を行っていくことが必要です。そこで、調査 研究体制を充実し、審議していくことになりました。



工事は、線路をそのままにして、地下で進められます。



調布駅の整備案の一つの例。
国、都、学識経験者や地元元業者等を交えた駅前広場研究会でいくつかの案が検討されています。

この案では、南北のバスターミナルがひとつにまとめられ、南口の広場空間が広く確保されてるね



最近愛用しているのは、実篤記念館のしおりです。透明で、実篤氏の絵があり、利用しやすい上に洒落ています。もっと皆が手に入りやすい所で扱って欲しいものです。お褒めです。(みとこ)

元気派ひろば

次の議会は十一月九日頃からの予定です。大河みとこは一般質問を行います。是非傍聴に行きましょう。詳しくは議会事務局にお問い合わせ下さい。(TEL:0424-81-7291)

身近な野草で編むミニかご作りとおしゃべりの会

11月19日(水)

午前10時~12時

深大寺地域福祉センター

第一集会室

材料費 200円

申し込みは元気派市民とみとこの会事務所(0424-88-4137)まで。

日本福祉のまちづくり学会高山大会に参加して



会場で市職員も研修で参加。感激。

観光都市・高山市で開催された大会では、会議で学んだ以上に、宿泊したホテルや買い物先の店員さん、そして、接した高山市民の方々から、誰にも優しいまちづくりとは何か教えられた。障碍を持った方も、

誰もが安心して旅行が出来るまちづくりが、道路のバリアフリー化等だけではなく、一つひとつの接遇の中に、自然ににじみ出していた事に感動した。



行って来ました!

土木学会主催「合意形成プロデュース・コンサルタントの役割」のシンポにパネラーとして参加する!



土木会館講堂で、「合意形成」について熱い議論に沸く。

公共事業を進める際の合意形成について、市民代表として事業者、学識経験など様々な立場の人と意見交換しました。公共事業は利害も絡み、合意取り付けが困難ですが、コンサルタントの役割として「初めに事業ありき」ではなく、市民意識を持って、中立的な立場から、表題にあるように合意形成プロデューサーとしての役割を担って欲しいと強く思いました。

公共事業を進める際の合意形成について、市民代表として事業者、学識経験など様々な立場の人と意見交換しました。公共事業は利害も絡み、合意取り付けが困難ですが、コンサルタントの役割として「初めに事業ありき」ではなく、市民意識を持って、中立的な立場から、表題にあるように合意形成プロデューサーとしての役割を担って欲しいと強く思いました。

元気派ミーティング (議会報告会)

11月13日(木)

19:00 ~ 20:30

深大寺地域福祉センター
第一集会室



伝言コーナー

みみチャンネルをお近くの方に配っていただける方を募集しています。事務所までご連絡下さい。

TEL:0424-88-4137

Eメール

genki@ops.dti.ne.jp

元気派市民とみとこの会の事務所は毎週月・火・木 金の10時から16時まで開いています。お見えになる方は予めお電話ください。

編集後記

秋が深まっていく。大好きな朝顔の種が熟す。次の夏にまた会おうね。(ちえみ)

夜のウォーキングを始めて一年が過ぎた。深大寺と植物公園の回りを約二周、夜の木や花は綺麗だけど、あたりはちよつとこわい。(ちはる)

息子が二十歳になった。「自立しなくちゃ」という心配が。いつも「自立しろ」と言っているのに、淋しい想いが。(まさこ)

大型公共事業が動き出し、まちが大きく変わっていく。私たちは「どんなまちに住みたいのか、もう一度再確認が必要な時期になった。(みとこ)」

財政難の折、調布市も、めりはりのお金の使い方をして欲しい。我が家もそうなんです。(みゆ)

元気派市民とみとこの会会員大募集!

当会は市民による調布のまちづくりを目指して活動しています。みなさんも当会に入会して、これからずっと住み続けたいまち・調布にしていきましょう。



会費(年)一口1,000円 何口でも結構です!
会費及びカンパは郵便振替にても受け付けております。
口座番号 00180-5-577951

加入者名「元気派市民とみとこの会」
「みみチャンネル」購読のみ希望の方も事務所までご連絡ください。

次の活動を行います

- 1 懇談会、講演会の開催
- 2 会報、パンフレットの発行
- 3 その他

鬼太郎茶屋が深大寺門前にオープンしました。歩いていけるので、楽しみです。是非食べてみたいのが「目玉おやじの栗せんざい」。どんなだろう? (みとこ)